

姫路駅北交通広場に「piole PARC(ピオレパーク)」を新設 ＜姫路市ウォカブル推進計画に基づく社会実験＞

ＪＲ西日本アーバン開発株式会社（代表取締役社長：藤岡秀樹）が運営するショッピングセンター「ピオレ姫路」にて、姫路市ウォカブル推進計画の取り組みとして、「Piole labo GARDEN」(2022 年 9 月開設)、「みちしば」(2023 年 11 月開設)に次ぎ、2025 年 11 月 20 日（木）に「piole PARC（ピオレパーク）」をオープンしました。オープン以降、居心地の良い空間を目指して什器、看板設置を順次行い、このほど居心地の良い憩いの空間が完成しました。

■「piole PARC」とは？

「姫路駅北交通広場」は、ＪＲ姫路駅北口を出てすぐ、ピオレ 1 北側に位置する姫路市が整備した通路です。半屋外のため天候に左右されない、駅前立地であることから、多くの人々が行き交っています。当場所に新設した「piole PARC」は、人々が憩い、思い思いの過ごし方ができる「公園」です。腰掛けたり、寝そべったり、多様な用途に適応できる様々な形状のベンチや芝生を設置しています。駅前エリアに訪れる人々だけでなく、街で活躍する事業者の皆様にも活用いただき、街の発展に繋がる機会と人々のつながり創出の場を目指しています。

-名称の由来-

「PARC（パーク）」はフランス語で「公園」を意味します。フランスの公園は「社交の場」として親しまれており、世代問わずベンチや芝生でくつろいだり、カフェの延長で使われたりしています。そんな豊かな過ごし方を姫路でも提案したいという思いから、「ピオレパーク」と名付けました。

■経緯

姫路市では「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現に向け、本来は使用が難しい公共空間の活用を推進する「姫路市ウォカブル推進計画」を推進しており、ピオレ姫路では、本取組の中で、立地や設置物によって様々な問題に直面し、「過ごす人々にとっての快適さ」と「持続可能な管理体制」の両立が課題であると認識しました。北交通広場は立地および設備環境の特性上、持続性のある運営管理と誰もが立ち寄りやすい環境づくりが可能であると見込まれることから、ピオレ姫路が主体となり、姫路市と西日本旅客鉄道株式会社とともに、当場所においてウォカブルなまちづくりに向けた社会実験を行うこととなりました。

■写真



ロゴデザインは「歩く・出会う・くつろぐ」というキーワードで表現し、公園や街の風景を組み合わせることで、ピオレらしさとまちの広がりを感じられるデザインとしました。